



石巻市立
飯野川小学校

防災かしわ

6月号

2020. 6. 11

発行日は、
毎月のメモリアルデーとしています

学校再開、すぐに避難訓練をしました！【6/3】

6月3日（水）の4校時に、『地震・津波対応避難訓練』を実施しました。最近、日本各地で地震が頻発していることもあり、子供たちは、真剣に、そして一生懸命に訓練に参加できました。

この日は、朝の「防災学習」で、各学年、発達段階に応じて、机の下への避難の仕方、避難経路、地震や津波による災害などを学習・確認しました。

そして、4校時の授業中の発災訓練となり、職員引率のもと、校庭へ避難しました。

①机の下への第1次避難



②避難指示により廊下へ整列



③約束
「おさない」
「はしらない」
「しゃべらない」を
守って避難



④階段は気を付けて移動



⑤各学年合流する昇降口



⑥外に出たら、走って避難



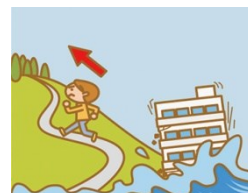
⑦ 決められた場所へ移動、
整列、人数確認



⑧ 校長先生からのお話

なお、「校庭集合後、『大津波警報』発令を知り、校舎へ第3次避難する」という活動は、今回、3密となることを避け、話だけとしました。

本校で考えている津波避難場所は、「㊦ 校舎3階」「㊧ 八幡神社」「㊨ 学校裏山」の三つになります。災害時の状況によって、どこが安全かを判断して子供たちに避難指示を出します。



『危険なブロック塀から身を守る』パンフレットを配りました！【6/5】

宮城のニュース

宮城 社会 3. 11大震災

小学校通学路のブロック塀、3割が危険 宮城県調査

宮城県内の小学校のスクールゾーン（半径500メートル圏内の通学路）にあるブロック塀の約3割は、危険な状態にあることが県の調べで分かった。このうち、すぐに取り除く必要があるブロック塀の約7割は放置されたままだ。県は所有者が撤去する費用を助成する制度を2020年度新設するなど対策に本腰を入れる。

18～19年度末までに、仙台市を除く県内34市町村の253小学校の通学路にあるブロック塀1万240カ所を調査した。

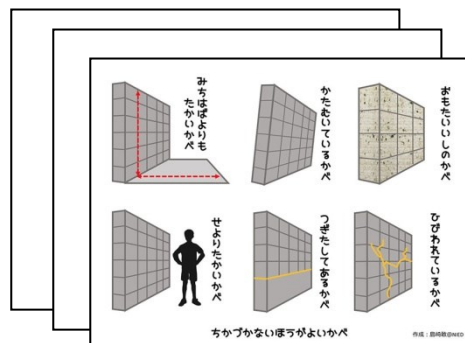
傾いたり、安定感がなかつたりして「除去が必要」と判断されたブロック塀は28市町で276カ所（2.7%）。ひび割れなどの劣化が進み「改修が必要」は33市町村で2588カ所（25.3%）確認された。



ひびが入ったブロック塀＝宮城県大河原町

登下校時及び休日に友達の家に移動する際などに、ブロック塀倒壊の被害に遭わないように、本校職員で、通学路の点検をいたしました。また、全校に『危険なブロック塀から身を守る』のパンフレットを配りました。各学級で指導しましたが、ご家庭でもお声掛けをお願いいたします。

なお、このパンフレットは、2年前にもお配りしております。



防災科学技術研究所の島崎敢さん作成

パンフレットは3ページのイラスト構成です。



大阪北部地震での痛ましい出来事も記憶に新しいです…